

(様式第1号の2)

農委受付

農業事務所受付

農地・農村振興課受付

※
農地法第 4 , 5 条の規定による許可申請書(農地造成)
※

下記土地について効率的な耕作をするため農地造成したいので農地法第 4 , 5 条の規定によって許可を申請します。

年 月 日
千葉県知事 様
譲受人
譲渡人

1 申請者の住所及び氏名		住 所				氏名(名称) 本人の電話連絡先等				
	譲受人					氏名(名称) 電話連絡先 連絡先名称 — —				
	譲渡人					氏名(名称) 電話連絡先 連絡先名称 — —				
2 許可を受けようとする土地表示・利用状況等	土地の表示		地 番	地 目		面 積 m ²	所有者氏名	耕作者氏名	自作・貸付の別	都市計画区域の区域区分
	市町村			登	現					
	大 字	字					m ²			
					m ²					
					m ²					
					m ²					
					m ²					
					m ²					
合 計		田 m ² 畑 m ² 採 m ² 計 m ²								
3 権利関係の内容										
4 転 用 計 画	(1) 用 途		(2) 転用事由の詳細				別紙事業計画書のとおり			
	(3) 転用の時期		着手予定 令和 年 月 日 完了予定 令和 年 月 日							
5 賃借料等	(1) 転用地の賃借料(年m ² 当) 円									
	(5) 賃借期間		自 令和 年 月 日 至 令和 年 月 日							
6 資金調達についての計画	資金所要額		土地代金		千円		計		千円	
			整地費		千円		自己資金		千円	
			建設費		千円		借入金		千円	
			その他		千円					
7 譲受人と譲渡人との関係			8 転用することによって周辺の農地に係る営農条件への支障の有無とその被害防除措置の概要					別 紙 事 業 計 画 書 の と お り		
9 その他参考事項										

土地所有者の誓約事項

私は、下記事項について誓約いたします。 署名

印

- ①自己の所有する農地を農地として効率的に活用するため、事業内容を把握しました。
- ②土地所有者（耕作者）は、転用事業が行われている間、違反転用の発生を防止するため埋立等事業計画に定められたとおり実施されているかを定期的に把握するとともに、計画どおり実施していないとき又はそのおそれがあることを知ったときは、直ちに、事業を行う者に対し事業の中止及び原状回復を求めるとともに、その旨を農業委員会に通報します。
- ③農地復元については、別添「農地復元誓約書」のとおり誓約します。

許可申請書作成上の注意事項

- (1) 記載に当たっては、かい書ではっきり書いてください。
ただし、住所については住民票、氏名については戸籍簿、土地の表示については登記簿に書いてあるとおりの字体を使用してください（申請書の内容がそのまま許可指令書に反映され、正確な記載がされないと、登記ができなくなりますので注意して記入してください。）。
- (2) 「譲受人」とは「転用を行う事業者」であり、「譲渡人」とは「土地の提供者」です。
第4条の場合は「譲受人」欄に各項目の記載をしてください。
- (3) 譲受人、譲渡人、土地の表示等の記載欄が足りない場合は、別紙に同様の記載欄を作成してそれぞれ申請書に添付してください。
- (4) 地目「現」欄は、「登」欄が農地以外の場合にのみ記入してください。
「現」とは申請者が判断する「現況地目」であり、「登」とは「登記簿の地目」です。
- (5) 「自作・貸付の別」欄は、申請地について耕作の事業を行う者が所有権に基づきその事業に供している場合には「自作」、耕作の事業を行う者が所有権以外の権原に基づきその事業に供している場合には「貸付」と記載してください。
- (6) 土地の表示欄に余白が生じる場合は、当該余白欄に斜線を引くか又は「以下余白」と記載してください。
- (7) 「権利関係の内容」欄については、第5条の場合に「転用を伴う賃借権設定、転用を伴う使用貸借による権利設定等」のように権利の種類及び設定又は移転の別を記載してください。
- (8) 「3 転用計画」以降の欄についても漏れなく記入してください。
- (9) 記入欄が足りない場合は、別紙に記載してください。